

年	組	名前
---	---	----

多数の養殖池、漁村の暮らし

姫島の風景 後世に



塩田跡を活用したクルマエビ養殖池（姫島村教委提供）

「国重要文化的景観」申請へ

有識者委で議論開始

姫島村は、塩田跡を活用したクルマエビ養殖など村の風景を「国重要文化的景観」に申請するため、有識者委員会で議論を始めた。2016年度以降の選定を目指す。文化・自然遺産を法的に保護し、日本ジオパークに次ぐ二つ目の「冠」で観光価値をさらに高めたい考え。選定されれば県内4件目となる。

文化的景観は文化財保護法が定める文化財の一つで、生活や生業などによってつくられた景観地をいう。自治体の申し出を受け、「おおいた姫島ジオパーク」文部科学大臣が特に重要な

ものを国の重要文化的景観やテーマはこれから詰め込む。現状変更届け出る。必要になる一方、管理や修理に経費の補助が受けられる。

9月現在、全国に43件あり、県内からは「小鹿田焼の里」（日田市）「田染荘小崎の農村景観」（豊後高田市）「別府の湯けむり・温泉地景観」（別府市）の3件が選ばれている。

姫島村は一島一村で、昭和まで製塩業が盛んだった。現在はクルマエビ養殖に代表される水産業が開発の恐れがあった。地層主。島内には多数の養殖池があり、タコやヒシキを干す漁村の風景が広がっている。

有識者らでつくる「文化的景観保存計画策定委員会」（委員長・竹村恵二京大院教授）によると、検討範囲は島全域と周辺海域の南北6キロ、東西14キロで、「おおいた姫島ジオパーク」と同一のエリア。構成要素

(2014年9月25日朝刊16面)

姫島村は、塩田跡を活用したクルマエビ養殖など村の風景を「国重要文化的景観」に申請するため、有識者委員会で議論を始めました。

①国重要文化的景観は大分県内に現在、何件ありますか。

.....

.....

.....

.....

②国重要文化的景観は誰が選ぶとされていますか。

.....

.....

.....

.....

③塩田で、塩はどうやって作られていたでしょう。調べてみよう。

.....

.....

.....

.....